

叙情あふれる詩を残した三好達治に「灰が降る」と題する①イシヨク(異色)作がある。短い言葉を連ねた28行の詩の最後は、こんなふう^にに結ばれる。(お月さまが②囀(ささや)いた/昔々(1)あの星に/(2)伶俐な猿が住んでゐた)。はて、どうということか▼灰とは核兵器による(A死)の灰のこと。詩の中の(A死の総計の灰をまく/とんだ花咲爺さんだ)は(3)核実験に血道を上げる大国であろう。人類は核で滅び、お月様が地球を③ナガ(眺)めて言うのが結びの言葉である▼その詩から半世紀以上。(4)冷戦も終結して長いのに、人類は歩みを止めたかのような核不拡散条約(NPT)会議の④ケツレッツ(決裂)である。最終文書を⑤サイタク(採択)できずに閉幕となり、核⑥ハイゼツ(廃絶)をめざす人々の失望は深い▼国際社会を見回せば、核兵器は大きな顔をしたままだ。米ロ英仏中の核保有国は今回、核兵器禁止条約の記述に強く反対し、⑦文言(もんごん)は⑧サクジョ(削除)された。この5カ国は国連安保理を常任理事国として支配している。⑨ガンバン(岩盤)のような「既得権」といえる▼6年前、「核なき世界」を高らかに唱えたオバマ大統領がノーベル平和賞を受けた。そのとき三好のこんな⑩逸話(いつわ)を小欄で引き合いにした。校歌の作詞を頼まれたが断り、その理由を「(5)僕が校歌を作つて、このさき心中でもしたら、学校の生徒は散々だ」と語つたそうだ▼希望に満ちた校歌ならぬ名演説を「先物買い」したノーベル賞に、一抹の不安を呈するコラムだった。(6)あのと^きの世界の熱気は散々に裏切られて終わるのか。(7)現実と切り結ぶ理想であれと、願いたい。 [2015年5月24日「天声人語」]

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを答えなさい。

問二 「叙情詩」は次のうちどちらか、適する記号を○で囲もう。

㉞ 外界の事象によって誘発された作者の感動を直接に表現した詩。

イ 神話・伝説・古代英雄の事跡・歴史上の事件などを、物語のように述べた詩。

問三 傍線部(1)(2)は何のことか、文中の漢字2字でそれぞれ答えよう。

(1)「あの星」…(地球) (2)「利口な猿」…(人類)

問四 〈A〉に適する漢字1字を書き入れよう。

問五 傍線部(3)にあてはまる国を文中から5字で抜き出そう。

(米ロ英仏中)

問六 傍線部(4)を終結させたマルタ会談に臨んだ米ソ両首脳の名前を答えよう。

米国首脳(ジョージ・ブッシュ) ソビエト連邦首脳(ミハイル・ゴルバチョフ)

問七 傍線部(5)で、「僕」をオバマ大統領、「校歌」を核なき世界を唱えたオバマ

大統領の名演説とすると、「心中」と「学校の生徒」は何を指すだろうか。

「心中」…(オバマ大統領が核なき世界を作るとの約束をたがえること)。

「学校の生徒」…(核なき世界を理想として求める人々)。

問八 傍線部(6)は、何の実現へ向けた熱気だったか、文中の5字で答えよう。

(核なき世界)

問九 傍線部(7)を30字程度で、具体的に説明してみよう。

[答例] (核兵器の存在する現実に立ち向かい、その廃止に力を与える)